高円寺地域（仮称）デザイン会議 魅力ある道の空間や活用を考える部会【高円寺北1丁目補助221号線関連】

８月５日（水）夕方、補助２２１号線予定地（現地）にて、歩道幅などの「原寸体験会」を開催し、その後に参加者による意見交換会を行いました。









参加者募集

月1回平日夜開催の部会活動しています。
興味のある方は、参加申込フォームにて受け付けています。



本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。
掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

仮舗装されている道路用地を暫定的に利活用するアイデア検討

A. 利活用にあたって

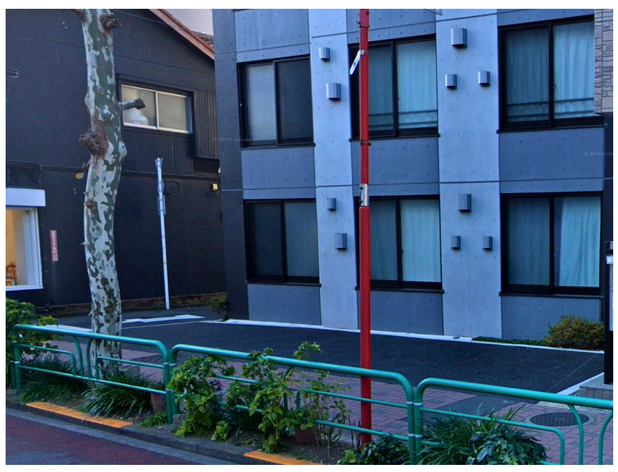
・提案されたアイデアは、テーマ部会の活動の一環として実施
・将来の道路用地のため、上下水道・電気などのインフラは未敷設
・道路以外で使う場合は、区や警察への占有許可等が必要。

B. 基本的な管理方法

・不法占拠や車の乗り入れ等を防ぐため、柵やポールを設置する場合がある
・防草や雨天時の土の流出防止等のため、浸透性アスファルト舗装等を行う



▲中野区沼袋の例



▲西荻窪の例1



▲西荻窪の例2

C. 道の空間部会で出された利活用アイデア

▼ 利活用でめざすこと

・仲間を増やし、一緒に考える人を増やす
・今後のみちづくりの先進例にする
・現状の課題を今から低減する（見通し、クルマの右左折、歩行、防災、緑など）

利活用アイデア	使う期間	実施による効果	実施に向けた課題
①子どもの遊び場	半日～	今参加していない親子や子どもとの接点づくり	企画グループづくり、企画準備、ルールづくり、広報など
②青空公民館	半日～	だれもが参加するきっかけにする	企画グループづくり、企画準備、ルールづくり、広報など
③フリーマーケット	半日～	だれもが参加するきっかけにする	企画グループづくり、企画準備、ルールづくり、協力者集め
④まちに関する取り組み展示	半日～	取組などを知らせたり、考える機会になる	企画づくり、協力者集め
④休憩所	半日～	だれもが気軽に使える	設置できる什器備品などの検討、ルールづくり、ゴミなどの管理
⑤レンタルスペース	半日～	いろんな人が使うことをつうじて、関心を持ってもらう	レンタルのためのルールづくり、組織づくり
⑥花壇や菜園	3ヶ月～	だれもが参加するきっかけにする まちの緑を増やす	お手入れの体制づくり 水などの確保（近隣の協力、水を必要としない植え方などの工夫）
⑦公民館などの建物	3ヶ月～	天候にかかわらず集まれる	構造物を設置するには、管理体制や事業化などの準備調整が必要
⑧防災広場	―	災害時の拠点などに使える、防災上の課題の低減	取り組みの具体化
⑨課題の低減に向けた社会実験や実施	半日～	見通しがよくなる 車が通行しやすくなる 歩行者が歩きやすくなる　など	適切な改良に向けた調査検討、効果検証　など

本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。
掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

補助221号線の道の空間イメージアイデア

高円寺地域（仮称）デザイン会議
魅力ある道の空間や活用を考える部会【高円寺北1丁目補助221号線関連】

道路の具体的な整備イメージは現時点で確定していません。

本部会では、道の空間活用の可能性を考え、区へ伝えていくために、メンバーそれぞれが「道の空間イメージ」を持ち寄りました。

本部会は、道の空間イメージを決定する場ではありません。

展示は都市計画道路事業の賛否を問うことを目的としたものではなく、道路整備やまちづくりを考える上での様々な意見や考え方を共有するためのものです。



本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。
掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

高円寺地域（仮称）デザイン会議 魅力ある道の空間や活用を考える部会【高円寺北1丁目補助221号線関連】
補助221号線の道の空間イメージアイデア

提案1





提案2



本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。
掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

高円寺地域（仮称）デザイン会議 魅力ある道の空間や活用を考える部会【高円寺北1丁目補助221号線関連】
補助221号線の道の空間イメージアイデア

提案3





道路のイメージ；沿道に緑が十分にあるとこうなりそう

・夏の日差しを遮る緑の木陰で歩行者はほっとできそう
・紅葉する樹なら季節の移り変わりを実感できそう
・風に揺れる梢（こずえ）は目にも優しそう →街にゆとりと潤いがもたらされそうですね。

提案4





お店や車庫のガレージのイメージ写真です (高円寺南中央公園の北西のビルです)

自然・歴史を生かしたストリート・カルチャーの形成

①私たちの生活の〝場〟には3つの場があります。
第1の場は「家庭」で、親や子供、夫や妻といった家庭内での役割を果たします。
第2の場は「職場や学校」で、上司や部下または生徒として要請される役割を果た します。
そして第3の場は「趣味の研鑽、友人等との語らいや一人で読書等」をする場です。
第3の場は、私たちが第1・第2の場で演じていた役割から解放され、本来の自分 に戻る場である、と言えます。

②まちのデザインや道や住環境の良し悪しは、私たちの精神生活に直結します。
私たちの毎日通る道やその周辺のまちの様態は、日々確実に私たちの思考や行動に 影響を及ぼしています。
中野駅周辺の再開発地区を見ると、21世紀の私たちをとりまく社会環境は、自分た ちの手に負えない巨大なシステムや巨大な景観の中で、自分の小ささや疎外感を感じ させる社会環境ではないでしょうか。

③そのような中野に近い高円寺北1丁目で、私たちが毎日通る道やその周辺の景観は、 私たちにとって第3の場として本来の自分を取り戻せるような、ヒューマンスケール の景観とすべきです。
そこにいて温か味、安らぎや癒しを感じさせる場、さらに予期せぬ何かや誰かに出会えるかも知れない楽しみも持てる「自然・歴史を生かしたストリートカルチャー」の 形成を図り、道そのものを第3の場として、地域や広く周辺の皆さんと育んでいけた ら、と思います。

本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。
掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

高円寺地域（仮称）デザイン会議 魅力ある道の空間や活用を考える部会【高円寺北1丁目補助221号線関連】
補助221号線の道の空間イメージアイデア

提案6



埼玉県和光市役所の脇道

通学路でもあり、街路樹も活かし、意図的に車道の幅を狭く(蛇行)させ、車のスピードの抑止を図っている。ゆっくり走る慎重運転で、譲り合いの気持ちも育む？！







堀之内・妙法寺前の道

妙法寺の門前から環七にかけての「参道通り」は妙法寺の縁日(毎月3、13、23日）の昼間は「車両進入禁止」になる。221号線も時には「ホコ天」にして、道をみんなが集う「広場」にしてみては。

提案7





画像1

1)全体像

補助２２７号線早稲田通り北側の交差点に手本となるような素晴らしいイメージがありました（東京都の作成）拡幅工事工程の理解との効果の理解に役立つと考えられます<画像1＞

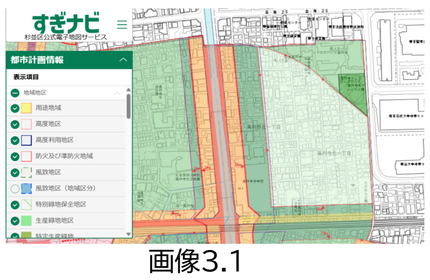


画像2

2）自転車専用通行帯

中野区のＪＲ線南側空き地（旧桃丘小学校跡地）の脇にポールで囲った専用帯らしいものを見つけました
専門家の意見も聞かないと分かりませんが、ただ路面にペンキ表示されている通行帯より自転車通行者には安心ではないかと思います
また、歩道を自転車専用道と分離（歩道には自転車・電動ボード乗入れ禁止）すると歩行者も安心です
<画像2＞

高円寺北１丁目の用途地域：
221 号線の 20m以北は低層の住宅専用地である第一種低住宅専用地域
沿道と高円寺学園以西のブロックは小規模な店舗は建設可能な第二種中高住宅専用地域
道路拡幅後もこうした静謐な住宅中心の環境を守り続けたいものです



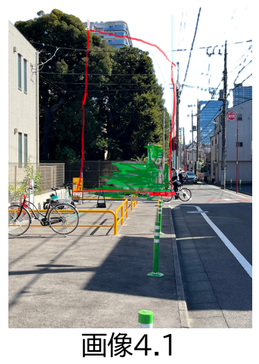
画像3.1

3）用途地域

都市計画関連法令により地域ごとに建物の高さ、建蔽率、容積率などが決まっています
北１丁目の221号沿線は基本第二種中高層住居専用地域（ＪＲ線路下は南５丁目で同様）、しかしそこから北へ20ｍ入ると第一種低層住居専用地域です 基本住宅地で店舗なども住居兼の小さなものしか建てられません
環七以東の「高円寺」では南５丁目の一部（たかはら公園を南に下ったところから中野区境まで）のみが該当しています
以下の「すぎナビ」で区内全域の詳細ご覧になれます
この閑静な住宅地の環境は近隣の中野区側の高層ビル化が進んでも長く守っていきたいものです＜画像3.1、3.2＞



画像3.2



画像4.1



画像4.2

4）樹木、井戸、神社

町内ほとんど唯一の屋敷林（多くが保護樹木）の映像です 歩道内に納まるので街路樹とは別に歩道上にこんもりとした林として残したいです
防災にも役立つ手動井戸も同じ敷地内で残せます
神社もオーナーは移転をお考えなのでこれは道路上ではなく敷地内移転か
＜画像4.1、4.2＞



画像5.1



画像5.2



画像5.3

5）沿道の緑化

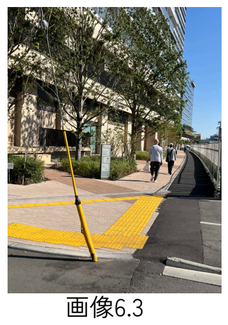
上記保護樹木以外にも道路拡幅に伴い従来なかった街路樹を南北の歩道に原則植えれば、美観と涼しさを兼ねた道に生まれ変わります
高円寺南中央通りの高円寺（寺院）沿道のように街路樹と社の緑が連なる風景が見たいものです＜画像5.1＞
しかし、南側のＪＲ高架下には万年塀や物置群などがむき出しの殺風景な部分が残ります
ここにも垣根などを設置して緑あふれる道にしたいものです
ＪＲの協力を仰ぐことも必要かもしれません<画像5.2、5.3＞



画像6.1



画像6.2



画像6.3

6）中野区との連携

補助221号線は隣接する中野区側でも拡幅・整備が進んでいます デザイン面の統一性はもちろんですが
中野区でも歩きたくなるまちづくりを推進しています
「ウォーカブルなまちづくり」は国交省、東京都の標語で推進中でもあるらしいです
中野区の担当部署に問い合わせたところ、初年度の今年は四季の森公園内道路について区自らが対応するようですが、隣接の２２１号線についても視野に入ると思われます
中野区側とイメージを合わせ道づくりが出来るようにしたいものです
また、中野区では歩道の社会実験として舗装の比較実験を実施しています
杉並区も連携して221号線上で実施しては？＜画像6.1、6.2、6.3＞



画像7.1



画像7.2

7）環七交差点

拡幅前の２２１号線の環七との交差点はＪＲ高架下に横断歩道があるだけで座高円寺のある北側には横断歩道がなく、歩行者、自転車は何度も信号待ちをしてジグザグ通行を余儀なくされています ２２１号拡幅後はスペースも確保されるので北側にも横断歩道を設けることが利便性、安全性両方の向上につながるはずです＜画像7.1,7.2＞



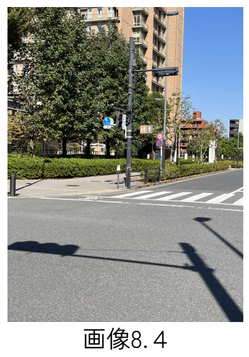
画像8.1



画像8.2



画像8.3



画像8. 4

8）中野・高円寺間のアクセス・回遊性改善

２２１号線の拡幅により中野区側（高円寺南五丁目を含む）からは、中野駅および近隣住宅街から環七や座高円寺、高円寺駅周辺の商店街へのアクセス、安全性が改善されます
高円寺地区からは周辺住民の憩いの場となっていて災害時避難場所でもある四季の森公園、諸大学のキャンパス、地域の中核病院である警察病院、開発の進む中野駅駅ビル、高層ビル商業施設等へのアクセス、安全通行改善が期待されます 中野駅では開発に伴い拡大する北口広場への直接アクセスが容易に＜画像８.1、8.2、8.3、8.4＞

9）ベンチ

上記と合わせ両区ともベンチ設置の補助を実施中ですが、あくまでも民有地への設置補助です　道路上はどこまで可能なのか、区が設置するのが筋でしょうか
https://www.city.suginami.tokyo.jp/s094/1649.html#p2
https://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/machizukuri/toshi/bentisettihozyo.html

本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。
掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

高円寺地域（仮称）デザイン会議 魅力ある道の空間や活用を考える部会【高円寺北1丁目補助221号線関連】
補助221号線の道の空間イメージアイデア

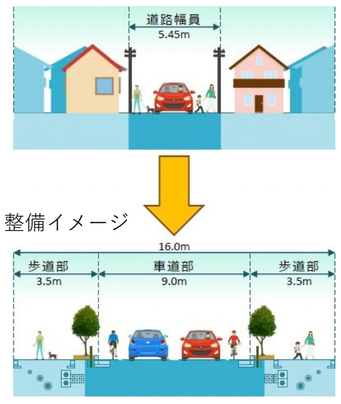
提案8

現在提示されている
東京都市計画道路補助線街路第221号線 拡幅整備計画

延長：287m 計画幅員：16m

整備目的：高度な防災都市の実現および拠点形成と拠点間連携
1.高度な防災都市の実現（災害時の防災機能が向上）
・災害時の避難路・緊急車両通行空間の確保・災害時の消防・救援救護活動空間の確保
2.拠点形成と拠点間連携（地域拠点へのアクセスが向上）
・高円寺駅と中野駅間のアクセス性向上
・歩道の設置・無電柱化整備による歩行者の安全性・快適性向上

（杉並区公式ホームページ https://www.city.suginami.tokyo.jp/s098/1704.html より）



「道路構造令」に準拠した防災・安全性のハード面を反映した道路イメージは、


（高円寺北2丁目芸術会館通り）


（高円寺南5丁目南中央通り）

上記のような道路になるのだろう？と思います。

但し留意点として、
災害時、道路幅16mをフルに活用するため防護柵/ガードレールのない縁石の低い構造にするには、大前提として、**自動車がスピードを出しずらく歩行者が安全な道路**とすること。その工夫として、

・自動車にとって“めんどくさい道路” ・歩行者ファーストの道 ・自転車は車道通行で歩行者保護

工夫の事例として、




直線道路を曲線道路にしてスピード 抑制（ 蚕糸の 森）


視覚効果でスピード抑制


ラバーポール＆曲線道路にしてスピ ード抑 制

そこで、当該道路拡幅を機に「魅力ある道の空間や活用を考える部会」とし提案すべき事は、

・地域生活者・通勤通学者・観光等来街者へ向けた新たな機能やソフト面での価値を付加することにより、地域の将来発展を見据えたデザインを提案したい。

・当該エリアを高円寺文化の一画として地域の魅力度を上げることにより、
次世代の継続定住性を確保し、次世代の転入者の確保で空き家、老朽家屋増大を抑制し、あらゆる世代がバランスよく健全に生活できる“町/街”を形成することができると考えます。

・さらに、「少子化、高齢化から脱却した発展し続ける杉並区」の構築を促し、
同時に「東京都の観光客誘致」にも寄与できるものと考えます。

当該道路拡幅に際し、部会として重視すべきソフト面での提案ポイントとして、

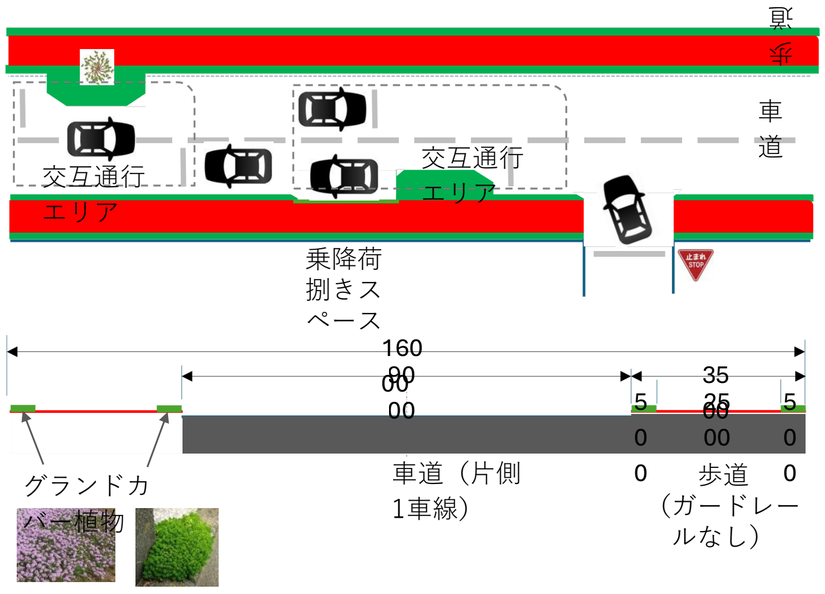
①道路拡幅による住環境悪化（交通量の過剰な増加等）を避け、
防災面・安全面で現状より改善されること。（タクシーの休憩場所、抜け道として危険な道路にしたくない）

②歴史ある静かで落ち着いた従来の生活環境を保持し、
全世代が “わが町”として誇ることのできるシンボル的な道路となること。

③高円寺・杉並区・東京都の観光資源でもある「“高円寺文化” と“中野文化” をつなぐ道路」
としての存在価値を確立すること。

④全国的に注目される「試み」「仕組み」「取り組み」等を導入するなどして、
意義ある部会活動としたい。

災害時、道幅16mをフルに使える、車道と歩道が一体となった道路の概念図
※道路構造令は無視していますので、安全な道路構造にするための要素としてみてください。
・防護柵/ガードレールなし。
※前提条件：スピードを出せない車道の工夫（見通しの良い直線ではなく車道形状で抑止等）
・セミフラット構造の低い歩車道乗り入れ縁石（H20~H50？）を全体に使用
・グランドカバー植物（芝生他）で車歩道境界構築。灌木の植栽は設置場所を工夫。



＜検討事項＞・外灯位置
保存樹木位置、保存井戸位置、社等その他の保存物の再設置の手法
・高架側歩道は建物がなく
3.5m幅の歩道は必要か？
・高架側歩道は日陰になる？ベンチ等を設置しても良いのでは？

提案ポイントを踏まえた具体的案（1）として、
①道路拡幅による住環境悪化（交通量の過剰な増加等）を避け、防災面・安全面で現状より改善されること。




イメージ：防護柵/ガードレールのない車歩道（アメリカ）

・防護柵/ガードレールのない縁石の低い構造で、災害時には、車道＆歩道一体で道幅16mを最大限に使える道路となる。
同様の理由で、車道と歩道の境界はグランドカバー植物で安全帯を形成し緊急車両が簡単に乗り越えて道幅16mを有効に使える道路。注）外灯や街路樹の数や設置場所は災害時に支障が出ない位置や数量の配慮が必要。（歩道際の多くが個人宅に面するので、高木の街路樹は落ち葉や倒木等のリスクがあるので避けた方が良い？）
・縁石を最大限低くし、「波打ち歩道」を回避（できれば車道とフラットな歩道、できれば縁石はスロープ）にして車椅子にとって“波打ち”がほぼない歩道を実現したい。
歩道に“波打ち”のない側に「車椅子優先レーン」を設置するのも良いのでは？

※もし、この道路を一時的に「歩行者天国」にした場合、
280m×16mの広大なフラットなスペースが出現し、
盆踊りなど大型のイベント開催ができる広場となる。
（沿道住民には迷惑かもしれないが、、、）
そのための電源や給排水設備を設置しておくことも
検討しては良いのでは？

提案ポイントを踏まえた具体的案（2）として、
②歴史ある静かで落ち着いた従来の生活環境を保持し、全世代が “わが町”として誇ることのできるシンボル的な道路となること。
③高円寺・杉並区・東京都の観光資源でもある「“高円寺文化” と“中野文化” をつなぐ道路」
としての存在価値を確立すること。
④全国的に注目される「試み」「仕組み」「取り組み」等を導入するなどして、意義ある部会活動としたい。

221号線の特徴：「高円寺駅＆中野駅をつなぐ道」「有意義で安全な道」を謳う歩行者ファースト道路

例1）テーマ・ロード（イメージ：境港市 水木しげるロード）
“サブカル・ロード” 高円寺カルチャーと中野カルチャーをつなぐ道 とか、近隣小中学校の卒業制作ブロンズ像を歩道に毎年展示するなどして 世代を“つなぐ道”、未来を“つなぐ道” 西荻ま駅まで断続的に続く“中央線回遊道”の魅となる道


イメージ ：水木しげるロード（境港市）

例2）生活者にとっての“楽しみの道”（イメージ：アンツーカの歩道）
ジョギング・ロード、要所に休憩ベンチ、水場を設置


イメージ2：歩道（グアム）

例3）新しい歩道体験ロード（イメージ：ボードウォーク等）
“木製の歩道は疲れない”等、その他、様々な “歩道の実験の道”や “アート歩道” （毎月ビジュアルが変わる等）
“コミュニケーション歩道”（歩道面が掲示板等）として活用


イメージ3：ボードウォーク（隅田川）

例4）その他、
道路維持管理団体を創設し、できた道路をほったらかしにしない道路活用を模索し、全国に魅となるユニークな活動を展開。

本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。
掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

補助221号線 道の空間イメージや原寸体験会で出されたポイント

あなたが一番道の空間で大切にしたいことは何ですか？ 3つ選んでシールを貼ってください

安全安心は最優先

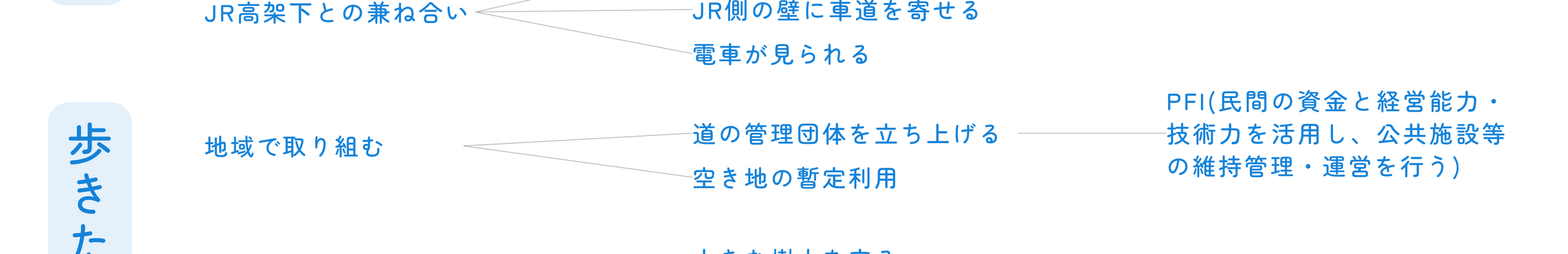
- 歩行者優先・安全
  - 歩車分離
    - 立体道路 (ペデストリアンデッキ)
  - 安全な通学路
  - 自転車専用通行帯
    - 車道・歩道との分離
- 車両のスピード・コントロール
  - 速度制限20km/h
  - 車道の蛇行、狭窄など
- 町内の通過交通抑制
  - 環七への左折禁止
- 地域の防災に役立つ
  - 緊急車両が働きやすい
  - 水害が起きづらい
    - 排水設備の工夫 (道路中央に排水路)
  - 地域の災害避難場所、救援所への安全ルート

周辺地域とのつながり

- 高円寺と中野のつながり
  - 環七との交差点・南北横断歩道整備
  - 高円寺・中野の文化をつなぐ
- 高円寺・中野双方からのアクセス改善
  - 高円寺駅周辺商店街へ行きやすく
  - 中野高層ビル群、駅周辺商店街が便利に
- 中野区側の道路との調和
  - 道路のイメージ設計統一
    - 住宅地としてのサブカル・オタクと一線を画す
- 沿道・南北後背地の住宅地の調和
  - 用途地域・都市計画を守る
  - わがまちの誇れる道
- JR高架下との兼ね合い
  - JR側の壁にみどりを配する
  - JR側の壁に車道を寄せる
  - 電車が見られる

歩きたくなる

- 地域で取り組む
  - 道の管理団体を立ち上げる
    - PFI(民間の資金と経営能力・技術力を活用し、公共施設等の維持管理・運営を行う)
  - 空き地の暫定利用
- 地域資源を守る
  - 大きな樹木を守る
  - 社を守る
- 沿道の景観・街並み
  - 沿道の文化形成
  - 豊かな街路樹
  - 民有地のみどりをつなぐ
  - 広場のように使える
    - フラットな歩車道
    - 歩行者天国



本展示は、高円寺地域（仮称）デザイン会議のテーマ部会で、参加者が話し合いや活動を通じて整理したものです。
掲載している内容は、部会参加者の意見や提案、活動成果等をまとめたもので、杉並区として決定した内容ではありません。

パネルをご覧になってご感想やアイデアをお寄せください